

本資料中（別紙 1）については、平成 26 年 5 月 9 日に内容の修正を行っております。修正内容の詳細は、更新情報ページの 5 月 9 日欄をご確認ください。

平成 26 年 4 月 25 日  
気 象 庁

## 気象庁防災情報 XML フォーマットに係る資料の一部更新について

気象庁防災情報 XML フォーマット情報提供ページ（<http://xml.kishou.go.jp/>）に掲載されている予報関連資料の一部について、更新を行いました。

変更内容は以下のとおりです。

### 1. 目撃情報を活用した竜巻注意情報の発表開始に伴う資料の更新について

気象庁では、平成 25 年 9 月に発生した竜巻災害を踏まえて開催された竜巻等突風対策局長級会議の検討報告（平成 25 年 12 月 26 日）を受け、竜巻注意情報を改善し、竜巻の発生・目撃の情報を新たに活用して、竜巻発生の可能性がより高まっていることを伝える竜巻注意情報の発表を、平成 26 年 9 月上旬を目途に開始します。

目撃情報を活用した竜巻注意情報の発表開始に伴い、以下の資料を更新します。

- ・ 気象庁防災情報 XML フォーマット運用指針
  - 別紙 1：辞書・スキーマバージョン管理表
  - 別紙 2：管理部・ヘッダ部の運用整理表
  - 別紙 3：UTF-8 依存文字列利用状況
- ・ 辞書
- ・ コード管理表
- ・ 個別コード表
- ・ 解説資料整理表
- ・ 解説資料
- ・ サンプルデータ整理表
- ・ サンプルデータ
- ・ 全内容出力スタイルシート整理表
- ・ 全内容出力スタイルシート

目撃情報を活用した竜巻注意情報の概要と資料の変更内容については別紙 1 に示します。また、開始時期の詳細については、決まり次第お知らせします。

別紙 1 目撃情報を活用した竜巻注意情報の概要と資料の変更内容

別紙 2 辞書及び竜巻注意情報の解説資料の変更内容（見え消し）

## 2. 指定河川洪水予報で使用するコード表等の更新について

都道府県と共同して行う指定河川洪水予報について、より適切な運用ができるよう WaterLevelStation コード表の観測所コードを変更します。

このコード表の変更は、平成 26 年 5 月 27 日 13 時に適用します。更新内容の詳細は以下のとおりです。

- ・太子橋の@code を「86060400060000089」から「86060400060000133」に変更。
- ・萱振大橋の@code を「86060400060000026」から「86060400060000132」に変更。

## 目撃情報を活用した竜巻注意情報の概要と資料の変更内容

### (1) 目撃情報を活用した竜巻注意情報の概要

竜巻注意情報の発表時に、Control/Titleを“竜巻注意情報”とする既存の情報に加え、Control/Titleを“竜巻注意情報(目撃情報付き)”とする情報を新たに配信します。

目撃情報を活用した竜巻注意情報を発表する際には、Head/Headline/Textに次のように記述します。

#### ・Head/Headline/Textの記述例

「【目撃情報あり】〇〇県北部で竜巻などの激しい突風が発生したとみられます。〇〇県は、竜巻などの激しい突風が発生するおそれが非常に高まっています。空の様子に注意してください。雷や急な風の変化など積乱雲が近づく兆しがある場合には、頑丈な建物内に移動するなど、安全確保に努めてください。落雷、ひょう、急な強い雨にも注意してください。」

また、Control/Titleを“竜巻注意情報(目撃情報付き)”とする情報では、Head/Headline/Informationに新たなtype属性を設け、目撃情報の通報された地域を記述します。

なお、目撃情報を内容に含まない場合は、既存の竜巻注意情報と同様で、Head/HeadlineのInformation type=“竜巻注意情報(目撃情報あり)”は省略します。

### (2) 辞書・スキーマの更新について

- ・jmx\_ib(ヘッダ部辞書)の“type.Information”のtype属性に“竜巻注意情報(目撃情報あり)”を追加しました。

### (3) スキーマのバージョンについて

今回の修正に際して、スキーマのバージョンに変更はありません。

### (4) コード表の更新について

AreaForecastLocalMコード表及びAreaForecastLocalM関係表中の説明について、目撃情報を活用した竜巻注意情報に対応したものに変更しました。

### (5) 解説資料の更新について

新たに設ける Control/Title “ 竜巻注意情報（目撃情報付き）” 及び Head/Headline/Information に新たに設けた type 属性“ 竜巻注意情報（目撃情報あり）” 等についての記載を追加しました。

（ 6 ） サンプルデータの追加について

新たな Control/Title に対応したサンプル電文を追加しました。追加したサンプル電文は次のとおりです。

- ・ 東京地方の例（目撃情報あり）
- ・ 東京地方の例（目撃情報なし）
- ・ 京都府の例（目撃情報あり）
- ・ 長崎県の例（目撃情報あり）

（ 7 ） スタイルシートの更新について

目撃情報ありの場合に対応したものに変更しました。

(別紙2)

辞書及び竜巻注意情報の解説資料の変更内容(見え消し)

- ・ jma\_ib (ヘッダ部辞書)(表 1.5.1.2)【一部抜粋】
- ・ 竜巻注意情報の解説資料

表1.5.1.2

接頭辞	jmx_ib	URI	http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/informationBasis/						
項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ	出現回数	意味	とりうる値	解説
51				*				"津波情報"	
52				*				"東海地震関連情報"	
53				*				"地震・津波に関するお知らせ"	
54				*				"地震の活動状況等に関する情報"	
55				*				"震源要素更新のお知らせ"	
56				*				"噴火警報・予報"	
57				*				"火山の状況に関する解説情報"	
58				*				"火山現象に関する海上警報・海上予報"	
59				*				"噴火に関する火山観測報"	
60				*				"火山に関するお知らせ"	
61				*				"季節予報"	
62				*				"異常天候早期警戒情報"	
63				*				"天気図情報"	
64				*				"気象特別警報報知"	
65				*				*	<任意の文字列>
66		InfoKindVersion		xs:string		1	スキーマの運用種別情報のバージョン番号		スキーマの運用種別情報におけるバージョン番号を示す。
67		Headline		type.headline		1	見出し要素		防災気象情報事項となる見出し要素を示す。
68	type.headline								
69		Text		xs:string	500	1	見出し文		防災気象情報事項である見出し文のテキスト情報を示す。
70		Information		type.Information		*	見出し防災気象情報事項		防災気象情報事項である見出し要素を示す。
71	type.Information								
72			type	xs:string	50	1	防災気象情報事項の種別		この要素が示す防災気象情報事項の種別を示す。個々の種別間は独立している。
73				*				"全般海上警報"	
74				*				"地方海上警報"	
75				*				"気象警報・注意報(府県予報区等)"	
76				*				"気象警報・注意報(一次細分区域等)"	
77				*				"気象警報・注意報(市町村等をまとめた地域等)"	("気象警報・注意報(二次細分区域等)"から変更)
78				*				"気象警報・注意報(市町村等)"	
79				*				"気象警報・注意報(警報注意報種別等)"	
80				*				"指定河川洪水予報"	
81				*				"指定河川洪水予報(予報区域)"	
82				*				"指定河川洪水予報(河川)"	
83				*				"指定河川洪水予報(府県予報区等)"	
84				*				"土砂災害警戒情報"	
85				*				"記録的短時間大雨情報(発表細分)"	
86				*				"竜巻注意情報(発表細分)"	
87				*				"竜巻注意情報(一次細分区域等)"	("竜巻注意情報(一次細分)"から変更)
88				*				"竜巻注意情報(市町村等をまとめた地域等)"	("竜巻注意情報(二次細分)"から変更)
89				*				"竜巻注意情報(市町村等)"	("竜巻注意情報(市町村)"から変更)
90				*				"竜巻注意情報(自警情報あり)"	
91				*				"震度速報"	
92				*				"震源・震度に関する情報(細分区域)"	
93				*				"震源・震度に関する情報(市町村等)"	
94				*				"緊急地震速報(地方予報区)"	
95				*				"緊急地震速報(府県予報区)"	
96				*				"緊急地震速報(細分区域)"	
97				*				"津波予報領域表現"	
98				*				"沖合の津波観測に関する情報"	
99				*				"噴火警報・予報(対象火山)"	
100				*				"噴火警報・予報(対象市町村等)"	
101				*				"噴火警報・予報(対象市町村の防災対応等)"	

## 竜巻注意情報 XML の解説

### 1 . 全体構成

Report

Control	管理部
Head	ヘッダ部
Body	内容部

## 2. 各部の構成と内容

### (1) 管理部

#### Control

Title 情報名称  
DateTime 発表時刻  
Status 運用種別  
EditorialOffice 編集官署名  
PublishingOffice 発表官署名

タグ	解説
Title	情報名称。“竜巻注意情報” <u>または“竜巻注意情報(目撃情報付き)”</u> と記述。
DateTime	発表時刻。“2010-08-13T01:46:00Z”のように協定世界時で記述
Status	運用種別。“通常”“訓練”“試験”のいずれかを記述。“訓練”“試験”は正規の情報として利用してはならないことを示す。
EditorialOffice	編集官署名。“気象庁本庁”“大阪管区気象台”のように記述。
PublishingOffice	発表官署名。“気象庁予報部”“大阪管区気象台”のように記述。



## (2) ヘッダ部

### Head

Title	標題
ReportDateTime	発表時刻
TargetDateTime	基点時刻
ValidDateTime	失効時刻
EventID	識別情報
InfoType	情報形態
Serial	情報番号
InfoKind	スキーマの運用種別情報
InfoKindVersion	スキーマの運用種別情報のバージョン
Headline	見出し要素
Text	竜巻注意情報の見出し文及び注意事項を記述
Information	対象地域情報
Item	対象地域情報要素
Kind	情報種別要素
Name	情報名
Code	コード
Condition	
Areas	対象地域
Area	対象地域要素
Name	地域名
Code	地域番号

タグ	解説
Title	標題。“ 竜巻注意情報 ”( は対象地域に応じた名称。“ 十勝地方 ”“ 東京都 ”“ 東京都 (伊豆諸島) ”“ 鹿児島県 (奄美地方を除く) ” など) と記述。
ReportDateTime	発表時刻。“ 2010-08-13T10:46:00+09:00 ” のように日本標準時で記述。
TargetDateTime	基点時刻。“ 2010-08-13T10:46:00+09:00 ” のように日本標準時で記述。
ValidDateTime	失効時刻。“ 2010-08-13T11:50:00+09:00 ” のように日本標準時で記述。
EventID	識別情報。何も記述しない。(空タグ)
InfoType	情報形態。“ 発表 ”“ 訂正 ” のいずれかを記述。
Serial	情報番号。
InfoKind	スキーマの運用種別情報。“ 竜巻注意情報 ” と記述。
InfoKindVersion	スキーマの運用種別情報のバージョン。 <u>Control/Title= “ 竜巻注意情報 ” 本解説の場合、バージョン番号は “ 1.0_0 ”。Control/Title= “ 竜巻注意情報 (目撃情報付き) ” の場合は “ 1.1_0 ”。</u>
Headline	見出し要素。
Text	竜巻注意情報の見出し文及び注意事項を記述。
Information	対象地域情報。属性 type は、“ 竜巻注意情報 (発表細分) ”“ 竜巻注意情報 (一次細分区域等) ” “ 竜巻注意情報 (市町村等をまとめた地域等) ”“ 竜巻注意情報 (市町村等) ” <u>“ 竜巻注意情報 (目撃情報あり) ”。</u> <b>【注】</b>
Item	対象地域情報要素。
Kind	情報種別要素。
Name	情報名 “ 竜巻注意情報 ” と記述。
Code	コード “ 1 ” と記述。
Condition	“ 発表 ” と記述。
Areas	対象地域。属性 codeType は “ 気象情報 / 府県予報区・細分区域等 ”、“ 気象・地震・火山情報 / 市町村等 ”。
Area	対象地域要素。
Name	地域名。
Code	地域番号。

【注】Information[@type="竜巻注意情報（目撃情報あり）"]部について

- ・Control/Title="竜巻注意情報（目撃情報付き）"の場合のみ記載する。目撃情報を活用した竜巻注意情報が発表されていない場合は省略する。
- ・目撃情報から竜巻などの激しい突風が発生したとみられる地域名（発表細分、一次細分区域等、市町村等をまとめた地域等、市町村等）を記載する。

（目撃情報から茨城県の南部において竜巻などの激しい突風が発生したとみられる場合）

```
<Information type="竜巻注意情報（目撃情報あり）">  
  <Item>  
    <Kind>  
      <Name>竜巻注意情報</Name>  
      <Code>1</Code>  
      <Condition>発表</Condition>  
    </Kind>  
    <Areas codeType="気象情報 / 府県予報区・細分区域等">  
      <Area>  
        <Name>南部</Name>  
        <Code>080020</Code>  
      </Area>  
    </Areas>  
  </Item>  
  _____ 複数の地域の場合は Item 部がここに追加される  
</Information>
```

(3)内容部

Body

Warning	地域ごとの情報
Item	情報要素
Kind	情報種別要素
Name	情報名
Code	コード
Status	発表状況
Area	対象地域
Name	地域名
Code	地域番号

タグ	解説
Warning	地域ごとの情報。属性 type は “ 竜巻注意情報（発表細分）” “ 竜巻注意情報（一次細分区域等）” “ 竜巻注意情報（市町村等をまとめた地域等）” “ 竜巻注意情報（市町村等）”。
Item	情報要素。
Kind	情報種別要素。
Name	情報名。“ 竜巻注意情報 ” “ なし ” のいずれかを記述。
Code	コード。“ 1 ” “ 0 ” のいずれかを記述。
Status	発表状況。“ 発表 ” “ なし ” のいずれかを記述。
Area	対象地域。
Name	地域名。
Code	地域番号。